

各 位

上場会社名	株式会社 学究社
代表者	取締役兼代表執行役社長 河端真一
(コード番号)	9769)
問合せ先責任者	専務執行役兼管理本部長 平井芳明
(TEL	03-6300-5311)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月15日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,440	890	900	530	91.86
今回修正予想(B)	4,191	573	578	315	57.69
増減額(B-A)	△248	△316	△321	△214	
増減率(%)	△5.6	△35.6	△35.7	△40.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	3,945	753	756	441	76.48

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,010	1,480	1,500	870	150.79
今回修正予想(B)	8,660	1,070	1,080	610	111.51
増減額(B-A)	△350	△410	△420	△260	
増減率(%)	△3.9	△27.7	△28.0	△29.9	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	7,990	1,073	1,081	559	96.89

平成26年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,000	870	890	540	93.60
今回修正予想(B)	3,813	580	604	349	63.91
増減額(B-A)	△186	△289	△285	△190	
増減率(%)	△4.7	△33.2	△32.1	△35.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	3,596	730	745	470	81.46

平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,020	1,370	1,390	830	143.86
今回修正予想(B)	7,800	1,000	1,030	610	111.51
増減額(B-A)	△220	△370	△360	△220	
増減率(%)	△2.7	△27.0	△25.9	△26.5	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	7,146	971	1,000	536	93.07

修正の理由

1. 第2四半期累計期間

(1) 個別業績

「ena」(集団授業)、「マイスクールena」(個別指導)に関する生徒数は計画どおり順調に推移し対前年比で増加いたしました。が、看護・医療系受験部門「ena新宿セミナー」及び芸大・美大受験部門「ena新宿美術学院」については、新宿移転に伴う生徒獲得の出遅れにより、売上高は前回予想値よりも減少する見込みであります。

また、生徒数獲得に向けた宣伝広告の強化による経費増と、計画を前倒しに行った新規出校により初期費用が先行した影響で、営業利益、経常利益及び四半期純利益は、前回予想値よりも減少する見込みであります。

(2) 連結業績

個別業績の理由に加えて、関係会社である株式会社インターエデュ・ドットコムにおいて業界の構造変化の影響を受けて広告収入が減少したこと、及び、GAKKYUSHA USAグループ(GAKKYUSHA U.S.A.CO.,LTD.、GAKKYUSHA CANADA CO.,LTD.、GAKKYUSHA SINGAPORE PTE.LTD.、GAKKYUSHA Hong Kong Limited及び株式会社学究社帰国教育)において主に受験学年生徒数が減少したことにより、売上高、営業利益、経常利益及び四半期純利益は、前回予想値よりも減少する見込みであります。

2. 通期

上期で計画未達となった部門において、下期で大幅な改善の見込みがないことから、連結及び個別の通期業績予想を修正することといたしました。

(注)上記業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上